



2019年8月9日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 佐光 正義  
コード番号 3880 東証第一部  
問 合 せ 先 執行役員経理部長 井川 準一  
(TEL. 03-6856-7513)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向を踏まえ、2019年5月17日公表の2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年3月期第2四半期累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	270,000	7,000	5,500	2,500	16.66
今回発表予想 (B)	270,000	10,000	8,500	4,000	26.65
増減額 (B - A)	—	3,000	3,000	1,500	
増減率 (%)	—	42.9	54.5	60.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	257,684	7,881	6,708	4,471	30.57

#### 2. 差異の理由

売上高については当初予想並みとなる見通しですが、営業利益については、営業面では、紙・板紙事業で高付加価値品に販売をシフトさせる等の構造転換が順調に進むと共に、価格修正が計画通りに浸透しています。また、コスト面では、通常古紙処理設備では容易にパルプ化できない難処理古紙の回収と利用を拡大させコストダウンが進んでいること等により、当初予想を上回る見通しとなりました。

また、経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益が増加したことにより当初予想を上回る見通しとなりました。

なお、2020年3月期の通期業績予想につきましては、中国等への輸出動向の影響を受ける古紙市況、及び国内の紙・板紙の需給バランス等の先行きが不透明であることを踏まえ、2019年5月17日に公表しました通期業績予想数値を据え置くこととしましたが、今後の業績動向等を踏まえ業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示します。

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上